

花巻東甲子園



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
花巻東	2	1	1	0	1	4	2	1	0	12
大船渡	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2



岩手日日新聞社

一関市南新町 60
郵便番号 021-8686

編集局 0191 (26) 4204

©岩手日日新聞社

号外

大船渡下し初連覇

第101回全国高校野球選手権岩手大会(県高野連など主催)は25日、盛岡市の県営球場で決勝が行われ、第1シードの花巻東が、最速163キロ右腕の佐

々木朗希(3年)を擁する大船渡を12-2で下し、2年連続10度目の夏の甲子園出場を決めた。花巻東は、一回に1番向久保怜央(3年)の右中間

三塁打を足掛かりに無死一、三塁とすると、敵失と3番中村勇真主将(3年)の右前適時打で2点を先制した。二、三回にも無安打で1点ずつを追加し、五回

先発中森至(3年)は一回に3連打で失点したが、その後は小気味いい投球でアウトを重ね、継投したエース西館勇陽(3年)も反撃を封じ、参加66チーム(71校)の頂点に立った。花巻東が2年連続で夏の甲子園に出場するのは初めて。

大船渡は前日の準決勝一関工戦で完封した佐々木が出場せず、序盤に失点したことなどで主導権を握れなかった。

全国大会は、8月6日に兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する。組み合わせ抽選は同3日。

詳細は26日紙面で



【花巻東一大船渡】花巻東一回、無死一、三塁から、敵失の間に三走向久保が生還し1点を先制する=県営球場